

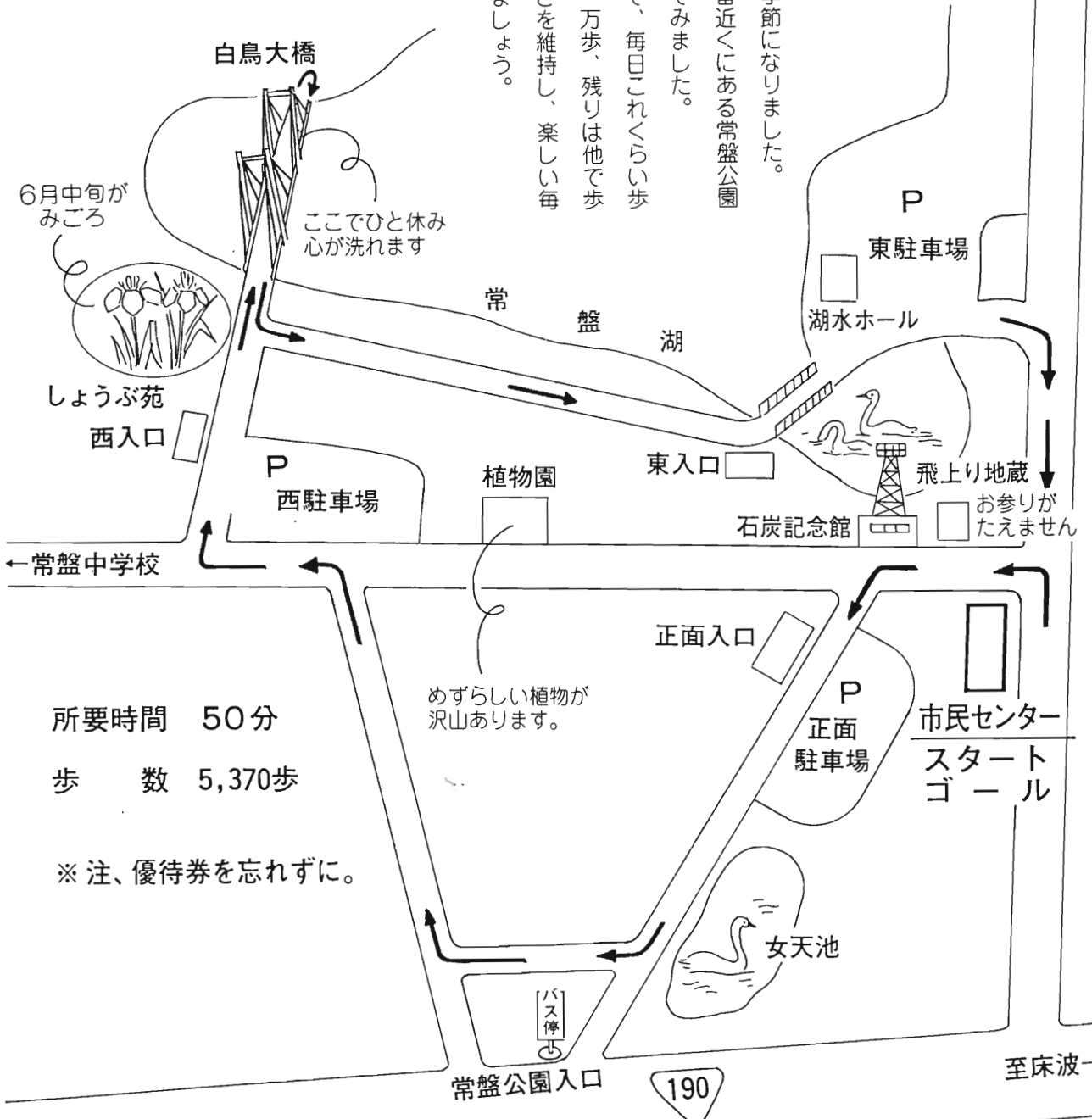
# コミュニティ常盤

No. 29

発行  
常盤桜くコミュニティ推進協議会  
TEL 22-1455

## さわやか 散歩マップ

さわやかな季節になりました。  
今回は、一番近くにある常盤公園  
の中を歩いてみました。  
健康を考えて、毎日これくらい歩  
いて（一日一万歩、残りは他で歩  
くので）若さを維持し、楽しい毎  
日を過ごしましょう。



所要時間 50分

歩 数 5,370歩

※注、優待券を忘れずに。

←至市内

常盤公園入口



至床波→

# 婦人学級に参加して

藤村寿子

退職したら、今まで出来なかった地域の友達とのふれあいをノと思っていた矢先に回覧板で婦人学級の開催を知り、迷わず応募いたしました。

講座の内容もさることながらどんな出会いがあるのだろうかとまるで遠足を控えた幼稚園児の様にドキドキする心をおさえてのスタートでした。

月一回、十講座で、一般常識、趣味、健康、政治、観察研修と幅広い組立でした。

いろいろな事情で皆勤は出来ませんでした、学んだ事を今振り返ってみますと、「新民法と親子関係」では家族のあり方を、「踊ってリフレッシュ」ではたっぷりと汗を流し自分の体力の衰えを、「市政を知ろう」では9月議会を傍聴して新入女性議員の活躍ぶりを、「視察研修」では広島の

た色紙をいただきました。この言葉は終了式を迎えた今の私の気持ちにピッタリです。

植物園と原爆記念館を、「クリスマスを飾ろう」では初めてフラワーアレンジメントを、講義の「人生いろいろ」では、仕事も趣味も地域活動もと、六十歳には見えな

また一緒に学んだ六十人の方々も、共に栄えるって素晴らしいではありませんか。学んだという自己満足だけに止めないで、少しでも地域活動へと発

また先生直筆の色紙を全員にプレゼントされ私は「自他共栄」と書かれ

お世話になった市民センターの皆様、村崎さんありがとうございます。



趣味や健康、政治問題など  
婦人学級で学ぶ

# 生涯教育について

澤本弘三

「生涯学習」って何!! 「地域づくり研修会に(主催、宇部市生涯学習推進本部、常盤校区社会教育推進委員会、会長三原孝史)のいっかんとし



て、三月十二日午後七時より、センターの大ホールに、土井利樹先生(広島大学・学校教育学部・助教)を講師として、講演会が開催された。この日は大ホールが満員となった。講演の要旨は次のとおり。 ◎「地域づくり」とはその地域が、住む人にとって誇りとなるように、又、喜びを感じる様な地

域づくりでなくてはならない。それには、老若男女誰れにでも声をかけられる様な雰囲気をつくらなければならぬ。この様な事は、市政にまかせてもできるわけがない。住民一人一人が、今何をすべきかと考え、変心しなければならぬのである。その為には学ぶことが必要となる。



生涯学習についての  
講演会で熱心に学ぶ

「な考え方」は 地域のアイデンティティ 地域独自の個性と自分らしく生かれる町、優しさをもちた町づくりである。その根底には、大人も子どもも、年寄りも若者も引きずり込んで、人と町が人間らしく生き残るための政策を町全体で考えること。 お互いの違いを認め、共に生きるための町づくり、それには学習しなければならぬ。 ◎「生涯学習とは」強制された学習ではなく、それぞれが自分の関心事と興味をもって行っているものから意図的に学習してゆけばよい。 社会の変化の速さについてゆくための学習。 時代の変化の中で町や人が生き残って行く為には必要不可欠なものは何を体験学習することも必要である。 — 広島弁で早くうちに誘いが、最後まで笑いを誘い、聴講者の耳をクギづけにした短かく感じた二時間でした。

ペンフレ

欄間

亀浦 草野 英明

空港道路建設に伴ない大沢西から転居してから約三十年が経った。生まれてから山口県を離れた約八年間を含め、...

仕事上運転することが多いが、何と車上から、空缶、火のついた煙草、酷い時は信号待たで灰皿の中味を一括処理をする人の多いことか。故郷が泣いている。

使い捨ての時代に欄間と同じランクで云々する事は筋違いかもしれないがシックリこないのは私だけだろうか。



花の季節を迎え、二人目の子供も校区を離れる事も重なり多少感傷的になっているこの頃です。次号は、子供達の安全を暖かく見守っている、江本光行さんをお願いします。

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。常盤校区の福祉事業のため、有意義にありがとうございました。

(自平成8年1月～至平成8年3月)

- 若松清文様 亀浦5丁目1-24 祖父若松清様
中村幹夫様 亀浦4丁目6-30-1 ご尊父中村一夫様
山本清子様 亀浦4丁目6-13 ご夫君山本信助様
藤本浩二様 大沢西 祖母藤本ミサヨ様
阿座上時勇様 則貞4丁目17-26 ご令室阿座上アサ子様
山田通夫様 亀浦5丁目7-25 ご尊父山田徹彦様
縄田熊雄様 亀浦2丁目15-20 ご令室縄田ウメコ様

常盤校区社会福祉協議会

七草がゆについて

大沢西後山根 常雄

年末年始のあわただしさから開放されあらためて年賀状を読み直します。「初春のおよろこびを」という言葉が多く書かれています。初春という言葉があそふかとすぐ春の七草が思いだされ、今も昔ながらのいい伝えが人々の心の中に生きているのだなあと深く考えさせられます。校区の皆様春の七草は度重なる七草がゆの行事に出席されて良

囲碁のすすめ

(二)

余話

\*\*\*\*\* 教室紹介 \*\*\*\*\*

一局部の優劣を争って大局の計を忘れるに似ている。「迂かつかな愚かなるかな」と家康が叱責したとの挿話がある。

さて、常盤市民センター内の囲碁教室を紹介し

りです。同教室は昭和六十二年春に老人クラブのきも入りで開設される。会員の多くは定年退職後の生きがいの一環として趣味の囲碁を通じて人と交り親睦を深めている。現在の会員は二十数名である。

利用した著書 林道義氏 「囲碁の深層心理学」

中野孝次氏 「日本の名隨筆囲碁」

に拘泥し天下の大事を決する主戦場に間に合わぬなどはあたかも碁において

ば長寿の葉草として万葉の昔より親しまれ今も初春の伝統行事「七草がゆ」として受け継がれて来ています。

校区の皆さん私達も七草に負けない様相互扶助の精神に基づいて校区発展のため力を合わせて努力して行くにはありませぬか。

何のその明日の生命は知らねども 七草におう 老いの坂道

### 〈民生委員さんを紹介します。〉

常盤校区の民生委員さんが平成7年12月1日委嘱されました。  
 (平成7年12月1日～平成10年11月30日)  
 担当行政区は次のとおりです。常盤校区の皆さんで悩み事等ありましたら気軽にご相談されるようお知らせいたします。

氏名	行政区	担当行政区	氏名	行政区	担当行政区	
村崎久子 (21-6230)	1～1 (亀浦東)	亀浦東	藤田昌代 (51-9608)	27～1 (岡の辻)	岡の辻 常盤 常盤アパート 3. 4 常盤アパート 1. 2 岡の辻寮	
渡辺浅雄 (31-0917)	1～2 (亀浦台)	亀浦台		藪兼節子 (51-0317)	27～3 (後岡の辻)	後岡の辻
向田博 (21-9589)	1～3 (亀浦西)	亀浦西			藤永保成 (51-9037)	28 (江頭)
紀藤堯文 (51-9398)	1～4 (亀浦北)	亀浦北	西村俊夫 (51-9839)	29 (大沢東)	大沢東 セントラル 大沢住 大沢西前 ペンギン村	
松本次朗 (21-3701)	2～1 (北則貞)	北則貞	村田信義 (51-2701)	30 (大沢西)	大沢西 大沢西後	
藤田雅子 (32-3839)	2～6 (東則貞C)	東則貞C 東則貞B		主任児童委員		
藤本詔子 (32-5790)	2～8 (東則貞)	東則貞	草野英明 (31-3191)	1～1 (亀浦東)	校区全般	
田原 實 (51-2420)	24 (浜中)	浜中 長生 千鳥ヶ丘市住 大沢住宅 大沢県住				

### 「常盤36区自治会 発足にあたり」

常盤台県営住宅自治会  
会長 伊達淳二

この度、常盤台県営住宅が新築され、今年1月、78世帯が入居。大沢西後自治会に加入させて頂きましたが、4月1日より「常盤36区自治会」として、分離、独立することになりました。

公園緑地の中に、豊かな空間、近代的な美観と陽光、素晴らしい農環に恵まれた団地に結成される自治会は、

- ※ 団地内の美化
- ※ 親しみある相互融和
- ※ 豊かな生計、秀れた環境作り

を、合言葉に、各自治会との協調と融和を計りながら、他に恥じない自治会作りに、役員一同務める所存でございますので、助言とご指導を賜わりたく、お願い申し上げます。

### 地域のふれあい

### どんど焼き

みぞれ混じりの小雨が降る一月十四日、第七回どんど焼きが行なわれました。

前常盤小学校校長上田様のもち米提供のおかげで、学校行事に

なって三回め。PTAはもちろん

です

### 常盤校区 の主な行事

5月12日(日) 大運動会

6月30日(日) 海岸清掃

7月7日(日) 第1回あき缶回収

8月11日(日) 夏まつり

9月15日(祝) 敬老会

どをいただきながら、立ち登る煙りに、無病息災を祈念し、三世代交流のどんど焼きは、あったかい雰囲気の中終了しました。

### 春の常盤路

あるウォーク大会  
とポンプラ飯

常盤校区第四回あるウォーク大会は、第二土曜日の休日に(三月九日)常盤公園周辺で開かれた。

あいにくの雨模様のなか、約二百五十人の親子小学生が参加、二人以上のグループでチームを編成し常盤湖周遊コース(約六キロ)をクイズを解きながらのラリーに挑んだ。

出発の午前九時半、雨足が強くなったが、傘やフード等の雨具を被って元気いっぱい子どもはスタートしました。

約二時間のコース中、天気もよくなり、春の自然を散策しクイズに取り組んでゴールを目ざした。

終了後は、恒例となった「ポンプラ飯」に参加者全員が竹筒を片手に味わい春の一日を楽しくすごした。

おじさんやおばさんの顔に粉がついていると思わず笑ってしまいます。杵で搗くおもちが初めてとか、懐かしく思った若いお父さんお母さんがいたかも知れません。せんざい、焼きもちな



COMMUNITY TOKIWA NO. 30

# コミュニティ常盤

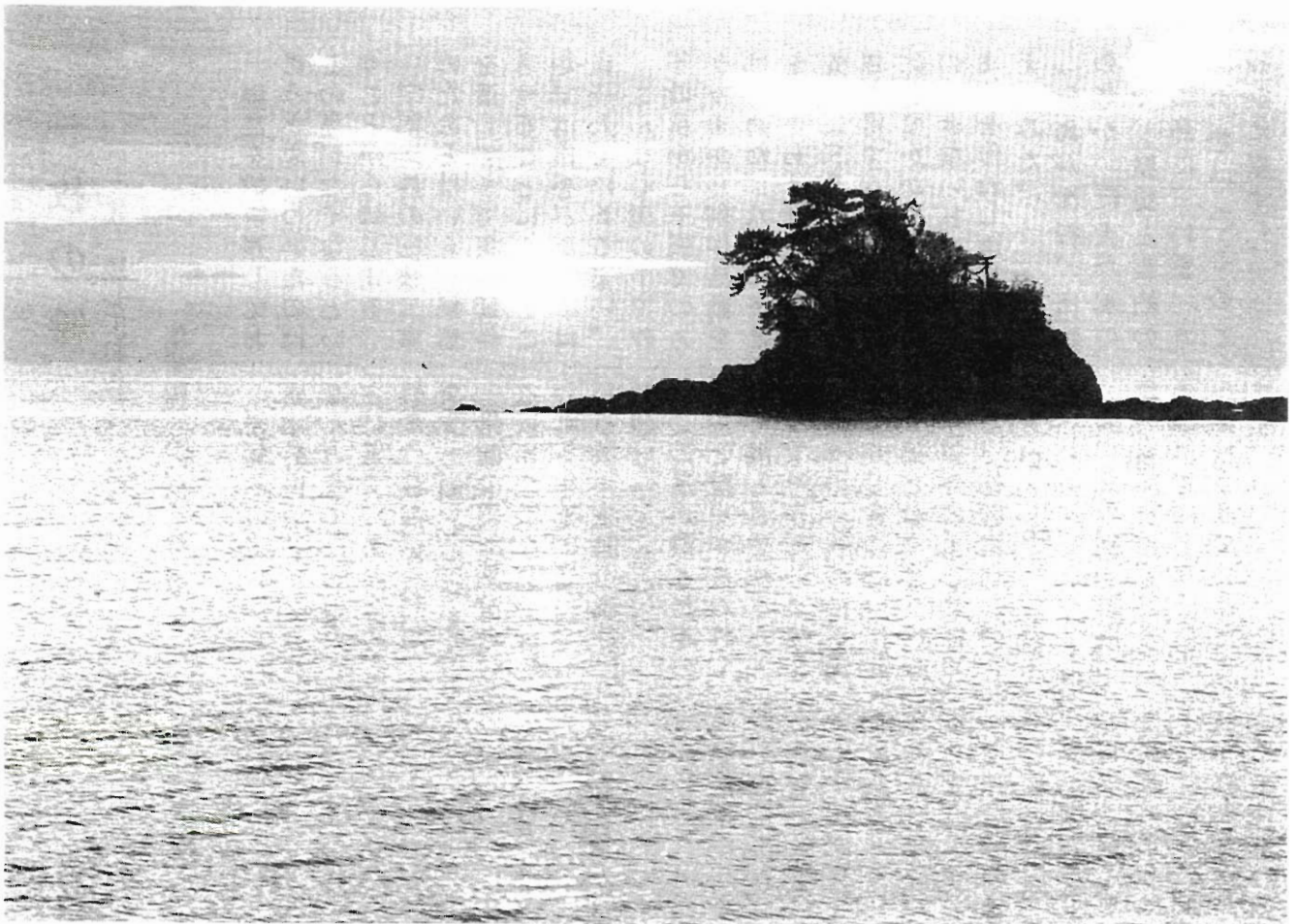
平成8年9月1日

No. 30

発行

常盤校区コミュニティ推進協議会

TEL 22-1455



## ふるさとの思い出 写真集

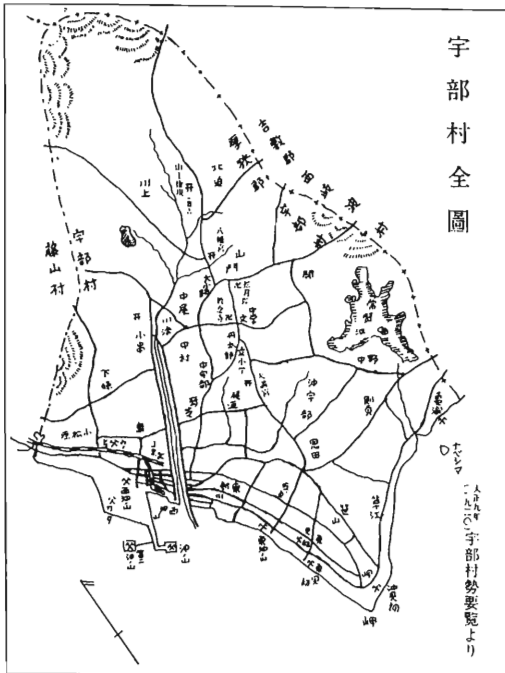
明治、大正、昭和“宇部”  
上田芳江編より

## 長門・周防国境の島

鍋島は、長門と周防の国境の島として知られ、また航海上の目標の島として、古い地図にも書かれていた。島についての記事は、注進案の小郡宰判に、「黒崎より西南六丁（およびその六百メートル）程沖にあり、総回り九十間（約百六十メートル）とある松立少しあり」とある

ので、岐波に属しているのだらう。島は蛇紋岩でできており、岩礫で囲まれた対岸との間は、砂岩が縞状になっている。頂上に黒松が生えておき、遠くからの景色がよい。

（ふるさと歴史散歩“宇部”黒木甫著より）



# 島

## 鍋



### 一枚の絵

残しておきたいもの

亀浦西 山田修策

さようなら

鍋島を描き残しておこうと思いついたのはこの島がなくなるといふことから始まる。宇部空港の拡張工事のためとはいえ、鍋島を潰してまで東へ延長させることに心のどこかで抵抗感があるのは私一人ではあるまい。

こんな心境の中で昨年の秋から干潟でのスケッチから創作活動をはじめた。八号の下絵を描きあげ師匠の花盛先生(三月逝去)の指導を得て本格的な創作にとりかかった。漢詩のできない私は思いのままを作詩し画賛に替えてみた。

「鍋島が沈む、何れの年か。巨大な翼の下で、歴史と哀歎のこの島に。いま、万感の想いをこめて砂浜に座す」

常盤駅の窓口にミニ素描を掲示してみるとなんとその反響の大きさに驚く、あらためて鍋島の存在感を高め、乗客の関心と呼ぶ！

常盤公園に來遊される観光乗客などから問われるままに島にかかわる故事來歴を説けば話題はつきない。

この島が潰されその由来と歴史が失われていく淋しさを思うとき残しておきたかったこの島への一枚の絵が過ぎ去りし昔の想い出の語り部となってくれるなら望外のよろこびであり、作者冥利につきるといふものである。

尚、日本画「鍋島」は、亀浦自治会連合会の御厚意により公会堂へ掲げさせていただきます。

### 移築の島に寄す

片山法忍

空港の拡張工事炎天下  
 鍋島の移築の噂雲の峯  
 鍋島に寄する青東風工事急  
 島移す船の起重機炎暑中  
 いまひとつ消えゆく島や土用浪  
 シヤッターを切る鍋島や雲の峯  
 消えてゆく噂の島や星月夜

### 鍋島の思い出

亀浦東 藤田徳雄

我が家から歩いて三から陸地を見れば、黒崎分、海に出れば目の前に鍋島が見える。

七十年間見なれた風景である。でも島の形は変わらないが松は一本も無くなり、バベやマサキなどの雑木が見えるだけである。

我が家が三から陸地を見れば、黒崎分、海に出れば目の前に鍋島が見える。

七十年間見なれた風景である。でも島の形は変わらないが松は一本も無くなり、バベやマサキなどの雑木が見えるだけである。

目を閉じると、子供の時代に遊んだことが走馬灯のようによみがえる。白い砂浜、青い海、鍋島も松がかたちよくたっている。島か

我が家が三から陸地を見れば、黒崎分、海に出れば目の前に鍋島が見える。

七十年間見なれた風景である。でも島の形は変わらないが松は一本も無くなり、バベやマサキなどの雑木が見えるだけである。

目を閉じると、子供の時代に遊んだことが走馬灯のようによみがえる。白い砂浜、青い海、鍋島も松がかたちよくたっている。島か

で行って泳ぎ、岩場で遊ぶ、ときには泳いで渡ることもあった。夏は海や鍋島は我が家の庭のようだった。

今はどうだろう、松は枯れ、海は汚れ、護岸堤の下にわずかに見える砂浜には、流れついたごみがいっぱい。見るかげもない。

あと一二年で鍋島もなくなるといふ。でも私の脳裏には、美しい自然がいつぱいだった鍋島が、焼きついて忘れることはないだろう。

ペンリレー

時の楽しみ

亀浦 江本光行



去る五月三日に  
NHKの番組で、  
私の大好きなポ  
プス大全集があり  
ました。  
昭和三十年代のい  
ろいろな曲が流れ  
たいへん懐かしく  
聴きなながら私自身  
の多感な時期を思  
い出しました。  
その当時は先進  
諸外国に追いつけ  
ない追いつけ

一ドル三六〇円で  
話が変わります  
が、この二、三年  
の私の楽しみ方を  
お話ししましたよ  
う、行先は阿武郡  
旭村の明木です。  
そこでは愛情一杯  
のお米と野菜を、  
萩では一夜干しを  
「道の駅」では乾  
物を買い求めるこ  
とです。また、そ  
こから眺める日本  
海の美しさは見飽  
きることはありません。  
ひとそれぞれ一  
生一度の人生を明  
るく楽しく健康で  
過ごしたく思いま  
す。  
次は則貞の松永  
義邦さんをお願い  
致します。

### 香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。  
常盤校区の福祉事業のため、有意義につかわれていただきます。  
厚くお礼申し上げます。  
(自平成8年4月～平成8年7月)

部 坂文子様	亀浦西 ご夫君 部 坂 直 亮 様
中重孝典様	大沢西 ご令室 中 重 タツ子 様
三原孝史様	大沢西 ご令室 三 原 昭 子 様
井上忠義様	大沢東 ご令室 井 上 茂 子 様
江本美津枝様	亀浦 ご令息 江 本 信 幸 様
藤永保成様	江頭 ご令室 藤 永 節 子 様
藤田昌代様	岡の辻 ご夫君 藤 田 孝 行 様

常盤校区社会福祉協議会

白鳥小謡会

\*\*\*\*\*  
\*\*教室紹介\*\*  
\*\*\*\*\*

白鳥小謡会の様子を紹介いたします。  
観世流小謡で謡曲の中の短い一節を抜き出したものです。師事は朝日幾右衛門先生です。教室は月四回で月曜日に習っております。

うたう肴謡(さかなうたい)と申しております。

先生とも八人で、内女性二人、男性六人が腹から声を張り上げてがんばっておりますが、なかなか上達しません。師事なさる先生のご心情をお察しいたしますが、お互いのふれあいのためにとまた、ボケ防止になればと根気よくはげんでおります。

さらには年二回は小謡、独吟、素謡等で各々シテ

春夏秋冬四季を通じて謡い又、名所、景色、神祇(天の神地の神)法事等があり謡の中に日本古来の歴史を思い起こすさまざまな事があります。祝儀・祝言(酒席の余興に

録音したものを聞き反省会も行っております。ご賛同の方がありましたら、性別、年齢には関係ありませんので何時でもお待ちしております。



常盤校区運動会の成績

- ▷総合の部
  - 1位 亀浦北自治会
  - 2位 大沢西の前自治会
  - 3位 北則貞自治会
- ▷リレーの部
  - 1位 後岡の辻自治会
  - 2位 岡の辻自治会
  - 3位 北則貞自治会



【西岐波中学校五〇年史編集委員会からのお願い】  
来々五月新制中学制度に移行し、五〇年を迎える事になりました。  
卒業生の方で、懐かしい写真等お持ちの方がございましたら、五〇年史を充実させるために押借できればとお願ひ申し上げます。  
連絡先 西岐波中学校  
四五一九〇五二 村重まで

# 夏祭りにひろった声

変革へのステップ

## 祭りの準備

ドカーン!!夏祭り始  
まりの花火が、まだ陽  
のある夕刻の空に打ち  
上げられました。その  
準備はなかなか人手の  
いるものです。午前中  
に櫓が組まれます。

切り立ての大きな竹  
に、数日前から作って  
おいた飾りを付けて櫓  
に取り付けます。  
赤や青の堤燈も付け  
られ、お祭り会場の雰  
囲気が出てまいりまし



た。

一方、慰霊祭の会場  
も多くの人の手によつ  
て厳かに設営されてい  
きました。

夏祭り実行委員会(会

長藤永保成)の人達が  
汗だくで準備してくれ  
る姿に、「みなさんお祭  
りを楽しんでください  
よ。すばらしいふる里  
にしましょうね。」とい  
う思いを感じました。  
今以上みなさんに愛  
されるお祭りにはたい  
という願いを込めて、  
会場でみなさんの声を  
聞かせて頂きました。

## 声

◇「長州音頭懐かしかった  
です。踊りの練習が二〜三  
回あったらいいなと思いま  
した。」

四十代女性

◇「お祭りはある方がいい  
ですよ。だけど知らない人  
もいます。チラシだけじゃ  
読まない人もいるしね。広



報車で廻ったらどうかし  
ら。」

◇「カラオケの時間が短い  
と思う。申し込みに行つた  
ら、ダメだった。二時間く  
らいあったらいい。」

六十代女性

◇「もつといい賞品だし  
て!」

三十代男性

◇「クジが、人が多くて出  
来なかった。」

五十代女性

◇「校長先生や教頭先生の  
仮装が見れて、おもしろい。」

二十代男性  
小学生

◇「仮装するといつもの  
自分じゃないようだ、暑  
いけど気分はいい。」

三十代男性

◇「慰霊祭をちゃんとし  
て、これこそ本来の盆踊  
りの姿と感じました。素  
晴しいです。自分達のふ  
る里を感じてもらえる努  
力・工夫がいいです。」

四十代女性

## 常盤校区 の主な行事

- 9月15日(祝) 敬老会
- 9月8日(日) ウォークラリー
- 11月9日(土)・10日(日) 文化祭
- 11月17日(日) 亀浦古墳の清掃
- 12月22日(日) たこづくり  
しめなわづくり

## 海岸清掃に 500人参加

おかげ様できれいになりました  
ありがとう  
ございました



財団法人自治総合センターから、全国  
自治宝くじの普及広報事業としてコミュ  
ニティ活動に対してテントの整備を受  
けました。  
今後コミュニティ活動の推進に活用し  
ていきたいと思ひます。

## 『広報ひがしきわ』 の編集委員会と交流

さる、六月四日東岐波  
公民館に於て、「コミュニ  
ティ常盤」と「広報ひが  
しきわ」の編集委員がは  
じめての交流をもつた。  
動機は寿恵村編集長が  
昨年まで、当センターの  
社会教育指導員をされ、  
退任後は東岐波で広報紙  
作り専任となられ、「両校  
区の編集委員会の勉強会」  
をしたらとの発案により  
実現した。  
初会合は双方から十三  
名のメンバーが集い、率  
直な意見を交した。  
次回は当センターで開催  
される予定。

